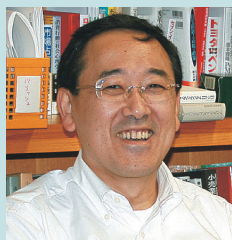


佐々木 茂 教授

【ささき しげる】

1991年高崎経済大学専任講師、経済・地域政策両研究科担当。98年商学博士。01年教授。専門は流通システム、マーケティング。行政各種委員担当、街づくりをサポート。国際交流委員長、地域政策研究センター長歴任。



- 商学総論 I
- マーケティング

マーケティング

基本は現場！

「研究テーマ」: 流通システムの研究で得られた社会志向性というマーケティングの知見を応用すべく、現在は地域マーケティング全般に関する研究を現実の地域づくり(まちづくり、農商工連携、観光)のサポートの場面に取り入れながら研究しています。リサーチは、日本国内のみならず、北米やニュージーランドまで幅広く対象にしています。

「担当科目」: マーケティングと商学総論を担当。マーケティングは、相手の立場に立って考えることを基調に、Product, Promotion, Price, Place (Distribution Channel)の最適な組み合わせを考え、市場に提供する諸活動です。企業間、企業と政府や病院・学校あるいは農業と消費者の取引関係を考察対象とします。新製品開発から街づくりまで、取引の対象がある限り、すべての分野に応用できるのがマーケティングの強みです。講義では地域企業とコラボレーションしており、受講者には実際の新製品開発にも取り組んでもらいます。

「ゼミ」: 社会科学の基本は、現場にあります。まず実物を見て、何かを感じることを、しかる後に書物や理論に触れること、そして自分がこれだと確信できた専門分野や指導者に出会えたなら、そこから徹底的に理論を学んで下さい。自分を”知りたい虫”にしてしまうことが、専門分野の興味を持続させるベストの取り組み方です。ゼミ活動は、地域(現在は、甘楽富岡地域と老神地域)との関わりの中で具体的な活性化に取り組み、日本マーケティング協会主催の10ゼミ討論会やヤンマー論文に投稿しています。

ゼミ生のひとこと



佐々木ゼミに出会っていなければ今の僕はありません。東京の学生に憧れ、不満ばかり言っていた僕を変えてくれたのはこのゼミでした。決して課題を与えてくれるわけではありませんが、自分から積極的に行動を起こせば必ず答えが返ってきました。社会人としての基本を教えて頂いたと思います。佐々木先生は新しいものを創っていく上で、お手本のような存在です。ゼミ生は仲間であり、ライバルであり、そして家族のような存在です。1+1=2でなく、3にも4にもなる、それが佐々木ゼミだと思います。

佐々木ゼミ12期/農通関西支社東京第1オフィス統合メディア局統合メディア業務推進2部 入澤 健太郎